

索引の再作成（メンテナンス）

自動作成される索引

テーブルに定義された項目の中で、「主キー」と「一意キー制約」の項目には自動的に索引（インデックス）が作成される
よって、明示的に作成する必要は無い

索引機能表

テーブルのレコードが、索引の順に並んで保存されている特殊なテーブル

断片化された索引の再編成方法

手順 1.

索引の表示方法

[スキーマ] タブ→データベース・オブジェクト・セクションの「索引」

【索引を検索する】

検索条件	<input type="text" value="表名 ▾"/>	← 表に対する索引検索のため
スキーマ	<input type="text" value="SCOTT"/>	
オブジェクト	<input type="text" value="EMP"/>	
	<input type="button" value="実行"/>	

手順 2.

索引の再編成

ステップ 2/6 【オブジェクト】画面

検索した結果の索引に対して、選択（●）をしてから、再編成を実行する

	<input type="text" value="再編成 ▾"/>	<input type="button" value="実行"/>	
選択	表所有者	表	索引
●	SCOTT	EMP	PK_EMP

ステップ 3/6 【オプション】画面

- 速度（オフライン）-オブジェクトの可用性は重要ではありません
- 可用性（オンライン）-オブジェクトの可用性は重要です
- ROWID メソッドの使用 非表示列を表に追加します

をクリック

※ 速度（オフライン）を選択すると、再作成中は一時的にインデックスが使えなくなります

ステップ ~~4/6~~ 【処理中：再編成スクリプトの作成中】画面
再編成容のスクリプトを生成しています
再編成自体の処理を行っているのでは、ありません
スクリプトが出来上がったら、自動でステップ 4/6 の画面が表示されます

ステップ 4/6 【オブジェクトの再編成：影響レポート】画面
影響が発生する事象に対するレポートが、表示されます
 をクリック

ステップ 5/6 【スケジュール】画面
ホスト資格証明として、OS 側のユーザー名とパスワードを入力し、
ジョブ開始の実行時間を設定します
 をクリック

ステップ 6/6 【確認メッセージ】画面
実行されるスクリプトが表示されるので、内容を確認して
 をクリック

ジョブが実行されると、確認メッセージが表示されます
確認

****という再編成ジョブが発行されました

ジョブの詳細表示

↑

「ジョブ詳細を表示」をクリックするとジョブが開いて、索引の再編成について
の結果内容が表示されます

参考

alter index インデックス名 rebuild online ;